

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・表現	演習	1	淵田 陽子
【授業のテーマ及び到達目標】 ①子どもたちの創造性を豊かにする」ために相応しい保育現場での幼児の生活や保育者の役割を、理解する。 ②保育全体をとらえる中で、「子どもたちの創造性を豊かにする」指導や援助法を作成する能力をつける。 ③幼児の表現教育の指導法考案の手順を身につける。			
【授業の概要】 幼稚園教育要領や保育指針の領域[表現]‘感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、表現する力を養い創造性を豊かにする’ことが、教育基本法第一条の「人格の完成を目指し」に、どのように結びつつか、就学前の子ども発想や想像力、表現力がどのようなことなのかを理解した上で、幼稚園や保育所生活の中で子どもたちが創造性を豊かにできる、人的環境、物的環境の設定や指導法や援助法を年齢ごとに学ぶ。			
【全体の授業計画・内容】			
1. 保育・教育の原理と保育内容「表現」			
2. 保育内容「表現」のねらいと内容			
3. 表現とは何か			
4. 自然と表現 身近なものに触れるということ			
5. 生活と表現 生活の中にある音と表現			
6. 乳幼児表現の理解 (0歳～1歳児クラス)			
7. 乳幼児表現の理解(2歳児クラス)			
8. 乳幼児表現の理解(3歳児クラス)			
9. 乳幼児表現の理解(4歳児クラス)			
10. 乳幼児表現の理解(5歳児クラス)			
11. 社会性を育てる表現遊び			
12. 心を育てる表現遊び			
13. 保育内容「表現」の指導案の意義			
14. 保育内容「表現」の指導案作成			
15. 試験およびまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:教科書を読み、内容を深めておく。			
学習のあり方:自分が幼児期に体験したことを思いだしながら、授業に参加する。			
復習のあり方:授業でディクテイクしたノート整理をする。			
【成績評価】 毎授業ごとのミニレポート(30%)、レポート(15%)、授業内での発表(15%)、15回目に行うレポート作成(40%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 レポートにコメントを記入し返却する。			
【テキスト】 保育と表現 石上浩美編著 嵯峨野書院			
【参考文献】 保育の表現技術実践ワーク 今井真理編			